

# サイエンス社 近刊・新刊のご案内



## めくるめく数理の世界——情報幾何学・人工知能・神経回路網理論

甘利俊一著 定価3190円

激動の時代を生きた著者が65年を超える研究生活を振り返り、その時々時代の背景と考究・情熱を独自の綴った一冊。



## ネットワーク学習から経済と法分析へ

久野遼平・大西立顕・渡辺 努共著 定価2750円

本書は、社会に数あるネットワークをネットワーク学習の観点から分析する方法をまとめたものである。まず基礎として複雑ネットワーク・統計的ネットワーク・グラフニューラルネットワークを紹介し、これらの応用例として経済・金融データと法律データを扱った。



## データサイエンティストのための データベース基礎

増永良文著 定価2310円

企業がデータ中心の組織に変革していくなかで、データサイエンティストに求められる、データベースに関する知識や仕組み・機能への理解を深めることができるテキスト。



## データ科学入門Ⅲ

モデルの候補が複数あるときの意思決定

松嶋敏泰監修 早稲田大学データ科学教育チーム著 定価2090円

記述関数や確率モデルが未知である設定における、回帰と分類の問題に関する意思決定を取り扱う。この問題に対するアプローチは様々あるが、分野や立場の違う方法を、意思決定写像を用いた統一の視点から整理・対比しながら解説することを試みた。

# 数理工学社 新刊のご案内 発売：サイエンス社



## 工学のための 離散数学 [第2版]

黒澤 馨著 定価2310円

刊行以来好評を得てきたテキストの第2版。離散数学の基本からコンピュータサイエンスへの応用まで扱う。また改訂にあたり、最短経路・最大フロー問題や仮想通貨の章を追加。無味乾燥にならぬよう身近な例題から感覚的、視覚的に理解できるよう工夫した教科・参考書。



## 工学基礎 最適化とその応用 [第2版]

矢部 博著 定価2750円

本書は刊行より好評を得てきたテキストの第2版。改訂にあたって、近年、連続最適化の知識が機械学習の分野でも応用されていることを踏まえ、その紹介を取り入れた。代表的な数値解法に対する図解を載せるとともに具体的な計算例も与えた好個の教科・参考書。



## 動画とPythonで学ぶ 振動工学

佐伯暢人著 定価2860円

本書は理工系学生向けの振動工学の教科書である。プログラム言語であるPythonを用いた数値計算法も多く紹介。また動画を読み込むための二次元バーコードを随所に掲載しており、視覚的に振動工学を学ぶことができる。2色刷。